

海外企業との連携で新たな需要を開拓 技術とサポート力で顧客に付加価値を提供

工作機械、ロボット等の動きを制御する「モーションコントロール」をコア技術として、顧客の要望に応じて基板から組み込み装置まで、多種多様な製品をオーダーメイドで創るモノづくり企業。B to B向け製品が主であるが、はんこ自動刻印機等のB to C製品の開発・製造も手掛ける。国内1か所(大阪府)、海外1か所(中国)の工場を保有し、広域での需要獲得に繋げている。事業形態はOEM/EMSが80%を占めており、自社製品やモータ関連の仕入販売も展開している。

- | | | | |
|----------|---|--------|----------|
| ● 所在地 | 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命 恵比寿ビル7階 | ● 設立 | 1984年 |
| ● 電話/FAX | 03-5421-7211/03-5421-0240 | ● 資本金 | 10,000万円 |
| ● URL | https://www.tohan-denshi.co.jp/ | ● 従業員数 | 43人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 永野 敏廣 | | |



日本の技術力を強みに中国市場を開拓

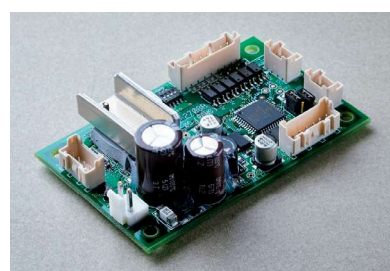
1995年に中小企業としていち早く中国市場に進出。深センに工場を建設し、電子機器受託生産サービス(EMS)事業を手掛ける。国内企業の中国法人や中国企業に積極的に売込み、海外需要の獲得に成功。日本品質を維持するため、中国工場でISO9001、ISO14001、医療機認定を獲得し、付加価値の向上に力を注ぐ。更なる市場拡大を見据えて、2018年に中国企業と合併会社を設立。自社の技術力と中国企業の販売力を掛け合わせ、中国市場への販売を強化。取引先数の増加につなげている。



中国市場に進出の起点である東莞の工場

海外企業との連携により新たな需要を獲得

自社と他社の製品・技術を組み合わせて、新製品を開発する協働的な取組みを継続的に実施。近年では、ドイツのICメーカーの展示会に出展したり、台湾の大手直動部品メーカーと共同開発に取組む等、海外企業との連携に力を注いでいる。この取組みにより、卓上ロボット開発で実績を上げ、継続的な注文をもらえるまでに成長。仕入れ面では、常時1万点程の部品を取り扱っているが、大阪工場地域内の取引先を優先的に選定する等、海外での需要を積極的に国内に還元。地域経済の活性化にも貢献している。



オリジナル製品のモーションコントローラ

多様な生産体制とメーカー&商社機能で顧客に付加価値を提供

国内と海外に工場を保有するため、試作品等、高付加価値・高技術が必要な製品は国内工場、コストメリットが求められる量産品は海外工場に対応できる多様な生産体制を構築している。一方で、国内外の優良メーカーの製品を供給する商社としての機能も保有しており、顧客の様々なニーズに対応できる。また、メーカーとして培った技術力を基に、顧客の要望に応じた製品のカスタマイズや新たな技術を提案。一般の商社では対応できないトータルサポートを実現し、顧客に付加価値を提供している。



ものづくり集団「The Motion Creators」